

2011 HOKKAIDOトレセン U-14 道北ブロック テクニカルレポート



2011. 8. 6~8

【報告者】高原 一広

1. 事業の概要

今年度の道北ブロックトレセンは、旭川・道北・宗谷の各地区から選出された63名の選手（当初の予定は65名）を集め、8月6日（土）～8日（月）の3日間、旭川のカムイの杜多目的広場で実施しました。

3日間とも30℃を超える猛暑の中でのハードなキャンプでしたが、幸い大きなケガもなく、無事に事業を終えることができました。

内容については、地区の課題である『ポゼッション』と『守備』をテーマにトレーニングを進め、GKについては、GKプロジェクトの結城さんにトレーニングを担当していただきました。

また、コンサ旭川とのTRマッチをはじめ、グループ対抗、地区対抗のゲームも行いました。

その中で、出てきた成果と課題について、以下のように報告したいと思います。

2. 成果と課題

【U-13・14 共通】

U-13・14に共通して良かった点は、何よりも、暑さにも負けることなくトレーニングに対して集中して取り組んでいたところ。1日目の夜のレクチャーで、攻守の切り替えについて話しましたが、選手は3日間とも非常に高い意識でハードワークをしていました。常に今回のような意識でトレーニングを積み重ねていくことができれば、地区やブロックのレベルアップにつながるものと確信します。

また、近年『ポゼッション』をテーマとして取り組んできましたが、GKを含め、ボールを簡単に失わないように協力して回そうという意識が見られました。この点についても、各地区や各チームでの取り組みが選手に浸透しつつあるように思います。

しかし、課題として強く感じたのは、オフのタイミングで『観る』習慣の不足です。ファーストタッチの質やポジショニング、関わるタイミング等、まだまだ感覚的で何

となくプレーしている時間が多く、効果的に攻撃したり、優位な状況でボールを奪ったりする場面があまり見られませんでした。この点については、グループやチーム戦術の指導以上に、この年代でしっかりと獲得させておきたい課題であると感じました。

【U-13】

U-13については、自分の特徴を積極的に生かそうと意識して取り組む選手が多く、少人数のトレーニングでは目を見張るプレーが随所に出ていました。

しかし、大人数のトレーニングやゲームでは、特にポジショニングや関わるタイミングの部分で課題が見られました。また、ボールを「止める」「蹴る」「運ぶ」テクニックについては、年代的な部分もあるかもしれませんが、個人差が大きかったように思います。日頃からの基本技術の積み重ねが必要に感じます。

【U-14】

U-14については、周囲の状況の変化をよく観ようという意識が見られました。また、攻撃では積極的に仕掛ける意識も高かったように思います。

しかし、守備の部分では、狙いをもち、果敢にボールを奪いに行く場面が少なく感じました。何となく相手のミスに助けられて攻撃していたので、1stDFと2ndDFの関係や正しいポジショニングについて改善が必要に思います。また、攻撃についてもミスが多かったので、サポートの位置や関わるタイミングについても、もっとこだわってレベルアップを図ってほしいと思います。

【その他(オフ・ザ・ピッチ)】

今回のキャンプから、宿舎も地区やグループに限らず部屋割りをしましたが、選手同士で比較的スムーズにコミュニケーションをはかっていて、他地区の選手ともいろ

いろな部分で情報交流を持てたようです。

また、昨年以上に宿舎でのマナーも良く、周囲に迷惑をかけたり、トレーニングに支障が出たりといった場面はありませんでした。

この点については、U-12年代から地区やブロックでのトレセン活動が定着してきたことが成果となって出てきているのではないかと感じました。

3.まとめ

選手はこの3日間を通じて、チームやグループの仲間と力を合わせてサッカーをすることに、非常に前向きに取り組んでいました。特に、攻撃の部分では、GKを含め、関わりを意識し、ビルドアップやサポートを意識してプレーしていました。これは各地区、各チームの指導者が「ボールを失わない」ことの大切さを、日頃から選手に伝えている成果だと思います。

しかし、「成果と課題」でも触れたように、守備については、道北ブロックとして改善を図っていかねばならない重要課題と感じます。また、守備のレベルが上がった際にも対応できるよう、攻守の切り替えの速さや、1つ1つのプレーの精度と質の高さにもこだわらせていかねばと思います。

そして、何よりもそれらの土台になるのは、やはり「動きながら」、「観て感じて判断する」ことの習慣化を追求し、徹底すること、これに尽きるのではないのでしょうか。これらの課題を、今後の活動にフィードバックし、道北ブロックから多くの選手が輩出されるよう、今後も活動を続けていきたいと思えます。

最後に、今回の道北ブロックトレセン開催にあたり、選手の保護者及び各チーム指導者の皆様をはじめ、多くの方々にご理解とご協力をいただきましたことに感謝を申し上げます。

特に、GKプロジェクトの結城さんと、コンサドーレ旭川のスタッフの皆さんにおかれましては、多忙な中、都合をつけて参加いただき、本当にありがとうございました。おかげさまで、ブロックとして実りの多い事業となったことをこの場を借りて報告いたします。